

財務省第 2 入札等監視委員会 平成24年度第 3 回定例会議審議概要

開催日及び場所	平成25年 3 月22日（金） 仙台国税局 3 階会議室	
委員	委員長 高田 敏文 （東北大学大学院経済学研究科会計大学院教授） 委員 青木 雅明 （東北大学大学院経済学研究科会計大学院教授） 委員 高木 龍一郎 （東北学院大学法学部長法学部教授）	
審議対象期間	平成24年10月 1 日（月）～ 平成24年12月31日（月）	
抽出案件	4 件	（備考）
競争入札（公共工事）	1 件	契約件名：（H24）片岸住宅解体撤去その他工事 契約相手方：株式会社佐々木組 契約金額：44,100,000円 契約締結日：平成24年10月22日 担当部局：東北財務局総務部会計課
随意契約（公共工事）	一件	
競争入札（物品役務等）	2 件	契約件名：国有財産測量等業務（H24－第 2 回） 契約相手方：土地家屋調査士 柴田健治事務所 契約金額：909,300円 契約締結日：平成24年11月 5 日 担当部局：東北財務局総務部会計課 契約件名：平成24年分確定申告期における備品の借上げ、搬入・搬出及び設営業務 契約相手方：広友リース株式会社東北支店 契約金額：81,856,016円 契約締結日：平成24年11月30日 担当部局：仙台国税局総務部会計課
随意契約（物品役務等）	1 件	契約件名：石巻税務署申告相談会場に係る土地の借上げ 契約相手方：株式会社浅幸商店 契約金額：993,600円 契約締結日：平成24年10月25日 担当部局：仙台国税局総務部会計課
応札（応募）業者数1者関連	1 件	※ 随意契約（物品役務等）石巻税務署申告相談会場に係る土地の借上げに同じ
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	
	次葉のとおり	回答 次葉のとおり
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	

意 見 ・ 質 問	回 答
<p>【事案 1】 契 約 件 名：(H24) 片岸住宅解体撤去その他工事 契約相手方：株式会社佐々木組 契 約 金 額：44,100,000円 契約締結日：平成24年10月22日 担 当 部 局：東北財務局総務部会計課</p> <p>震災の影響により工事に係る人手が少ないと言われている中、当該入札には 6 者の入札参加業者があるが、特段の対応を行ったのか。</p> <p>入札金額について、最低価格と最高価格の差が約 2 倍程度あるが、理由は何か。</p> <p>【事案 2】 契 約 件 名：国有財産測量等業務（H24－第 2 回） 契約相手方：土地家屋調査士 柴田健治事務所 契 約 金 額：909,300円 契約締結日：平成24年11月 5 日 担 当 部 局：東北財務局総務部会計課</p> <p>入札金額が予定価格の約半分である理由は何か。</p> <p>競争参加資格を有する土地家屋調査士は、仙台市内で何者あるのか。</p> <p>【事案 3】 契 約 件 名：平成24年分確定申告期における備品の借上げ、搬入・搬出及び設営業務 契約相手方：広友リース株式会社東北支店 契 約 金 額：81,856,016円 契約締結日：平成24年11月30日 担 当 部 局：仙台国税局総務部会計課</p> <p>当該業務は、備品の借上場所が東北 6 県52税務署と広範囲に及ぶものであり、業務の履行が可能な業者に限られるおそれがあるものと考えられるが、更に応札者を増やすため、例えば県単位ごとなど調達規模を分割して入札を行わないのか。 また、同種案件に係る他の国税局の調達状況はどのようなものか。</p>	<p>入札実施に当たり、入札公告を専門機関紙等に掲載したことで、6 者の入札参加につながったものと思われる。</p> <p>また、当該解体工事場所の近隣地域においては、津波の影響により建物の解体工事が多数行われており、それに伴い解体業者も多数存在していると考えられる。</p> <p>他の建物に係る解体工事等において既に工事作業員が確保できている者と当該案件のために新規に工事作業員を確保する者では、人員確保に係る費用の積算に当たり金額に差が生じたものと思われる。</p> <p>当該業務は、仙台市内及び塩釜市内という比較的狭い範囲で行う業務であったこともあり、入札者は効率的に業務が行えと考え、このような入札金額になったものと思われる。</p> <p>仙台市内に土地家屋調査士は多数いるものの、今回の入札案件に参加可能な競争参加資格を有する者は 4 者であることを確認している。</p> <p>当局においては、契約事務に係る事務量の削減及びスケールメリットによるコスト削減の観点から、可能な限り契約事務の集中化を検討の上、実施してきている。</p> <p>また、集中化に当たっては、調達規模が大きくなることにより 1 者応札とならないよう配慮しているところである。</p> <p>調達規模を分割すれば応札者数が増加する可能性はあるものの、価格の上昇も危惧されることから、他の国税局の調達情報等も入手しながら、併せて検討を行っていきたい。</p>

意 見 ・ 質 問	回 答
<p>【事案 4】 契 約 件 名：石巻税務署申告相談会場に係る土地の借上げ 契約相手方：株式会社浅幸商店 契 約 金 額：993,600円 契約締結日：平成24年10月25日 担 当 部 局：仙台国税局総務部会計課</p> <p>仕様書に記載されている要件（石巻税務署との距離要件及び借上げ面積等）を付している理由は何か。</p> <p>【総評】</p> <p>1 審議した 4 件の事案に係る入札手続及び入札は、適正に行われたと了解した。</p> <p>2 要望として 3 点申し上げたい。</p> <p>（1）土地家屋調査士会などを通じて、土地家屋調査士に対する入札参加資格の取得の働き掛けを行い、入札参加者の増加を図っていただきたい。</p> <p>（2）全国で同種の業務を同時期に発注するような案件がある場合は、その入札情報を共有する若しくは情報をモニターできるような仕組みの構築を検討していただきたい。</p> <p>（3）随意契約を行う場合であっても、現行の制度に則った公募手続を行う必要があることは認めるが、機械的に手続を行うのではなく、随意契約のあり方を含め、手続について検討していただきたい。</p>	<p>震災による津波の被害により過去の申告書や決算書等を亡失した納税者の確定申告相談に当たって、税務署に保管している当該書類を確認する必要があり、また、その頻度も非常に多いことから、税務署との距離要件を付しているほか、来署する多数の納税者に対応可能なプレハブを設置するために必要となる借上げ面積等を要件としている。</p>